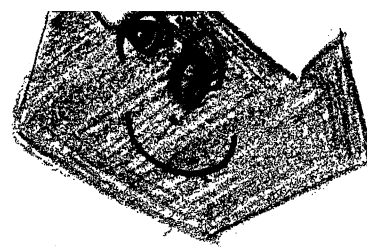


12月の 園便り

27年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子



「自分でやると気持ちよく行動できる」のですが、「言われると嫌になる」ということはよくあることです。これはいわゆる主体性につながることです。幼稚園で片付けが始まると、担任たちは歌いながら自ら片づけはじめて、言葉を使わずに知らせていきます。子どもたちはその歌を耳にして「今、面白いとこなの…」と思いつつも、心の中で「遊んでいたいけどそろそろ終わりにしないといけないな」と自分の遊びに区切りをつけていきます…“主体的に”…です。こんな時、親切な子どもたちが、皆に片づけを知らせたいと思って「もうお片づけだよ」と言ってくれることがあるのですが、しかし、言われた子どもたちはあまりいい気持ちでなくて「分かってる!」「知ってるよ!」とちょっと強い言葉を返したくなるようです。なぜこういいなくなるのか…人間は自分でやりたいと思って自分から動く気持ちよくできるという生き物らしいですね。だから幼稚園では、自分がやりたいと思って行動できるように環境を作って主体性が育つようにしています。遊びもそうです…遊びを自分で決める・創造するということは、とても楽しく面白く、もっとこうしようとますます面白さを追求していくこととなります。こうした生活をたくさん経験していると、意欲満々で主体的に生きる子どもたちに育ちます。でも、主体的に生きるようになって欲しいからと「自分でやりなさい」とか「積極的にやりなさい」などと言葉だけで叱咤激励されてもできないのです。必要なのは、主体的に行動したくなる環境を作っておくこと、そして、主体性を認めることができる保育者がいることです。(これが結構難しい)

園庭に砂を入れた日のこと、いつもと違うものがあると、すぐに見つける子どもたち…一番に もも組さんがやってきました。「なにこれ」と興味を持って近づいてきました。触ってみて、掘ってみて、そして「あれ?…これどうしたの?サラサラだよ」とさっそく土と砂の違いに気づいていました。この日の朝、雨が降っていたので砂は濡れていたのですが、砂が濡れていても、土と砂の触感の違いを感じていたもも組さんたちです、男の子たちはすぐに手押し車とシャベルを持ってきて、車に砂を積み始めました。どんどん車に積み込む男の子たち!土と違ってすくいやすいこともシャベルを通して感じていたことでしょう。男の子たちは、今度は砂山の上に登り始めました、登ると足元の砂が崩れていくので「うわ〜!!」と声をあげながら…そのうち一人が“はだし”になって、一人また一人と“はだし”が増えていきました。そのはだしの子どもたちを見ていた一人の女の子は「寒くなったからはだしはダメなんだよ」と言いながら砂山に登る子どもたちを見ていました、しかしその楽しそうな様子に、ついに「わたしもはだか〜」(笑)と言いながら靴下を脱いで山に登りました。もも組さんが自ら全身で砂を感じながら遊んでいた姿を見ていて、子どもたちは生まれながらに**自分でやろうとする根**を持っているのだとつくづく思いました。この**尊い根**をそのまま伸ばしてあげなくては…**根たくまなければ、おのづから育つ(むのたけ)**…ですからね。

12月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	火	○	2:00	父母の会主催	味噌作りの会が行われます。
2	水	○	2:00		
3	木	○	2:00		
4	金	○	2:00		
5	土	×	11:30	自由登園日	OB(卒園児保護者)の方々味噌作りの会
6	日	/	/		
7	月	○	2:00		
8	火	○	2:00		
9	水	×	11:30	誕生会です、12月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう。	
10	木	○	2:00		
11	金	○	2:00		
12	土	/	/	第2土曜日	
13	日	/	/		
14	月	○	2:00		
15	火	○	2:00		
16	水	○	2:00		
17	木	○	2:00		
18	金	○	2:00		
19	土	×		アドヴェントの庭を行います。詳細は各クラスのお便りをご覧ください。	
20	日	/	/		
21	月	×	11:30	午前保育、お帰りの時間が早くなりますが、よろしくお願いいたします。	
22	火	×	11:30	第2学期終業式	
23	水	/	/	天皇誕生日	
24	木	/	/	本日から冬休みです。	星の子は行います。
25	金	/	/		星の子は行います。
26	土	/	/	第4土曜日	
27	日	/	/		
28	月	/	/		星の子は行います。
29	火	/	/	冬季休業に入ります(～1月3日まで)	
30	水	/	/		
31	木	/	/		